

第12回会津若松市環境大賞受賞者一覧

部門名	個人・団体	団体名等	選考結果	
環境大賞	団体	大戸小学校	<p>毎年、通学路等の地域のごみ拾い(クリーン作戦)を実施しているほか、国道から学校まで続く道沿い(フラワーロード)や学校花壇に植栽し、育てた花苗を周辺施設に寄贈するなど、地域の美化活動・緑化活動に貢献している。また、日ごろより、校内の節電・節水等の省エネ活動やごみの分別収集等のリサイクル活動に努め、定期的に「環境委員会(児童委員会)」で取り組み事項の反省を行うなど、PDCAサイクルに基づき地球にやさしい環境活動を実践している。</p> <p>30年以上の長きに渡り環境活動に取り組む姿勢は、子どもたち自身にはもちろんのこと、周辺住民の環境に対する意識高揚につながり、市全体の模範であると評価できる。</p>	
環境賞	個人	長谷川 万平	<p>日新地区町内の空き地の除草や道路のゴミ拾い、神社の除草や枯れ枝の剪定、コミュニティセンターへの緑のカーテンの設置など、様々な環境活動に取り組んでいる。また、町内の資源物・廃食用油の回収にも尽力しており、町内の回覧文書の中で、毎回、回収量の報告や呼びかけを行い、住民の意識高揚に貢献している。</p> <p>日新地区環境美化推進協議会の一員として、また、一個人としても環境に対する意識が非常に高く、高齢に関わらず、現在も町内の先頭に立って環境活動に努める姿は高く評価できる。</p>	
		事業所	竹田健康財団	<p>施設の建て替えにあわせ、新施設に太陽光発電、風力発電、帯水層蓄熱システム、高効率照明等、各種省エネ設備を導入した。病院ロビー内には、太陽光発電量や電力使用量をリアルタイムに表示できるモニターを設置し、来院者への意識付けにも役立てている。また、省エネ委員会を設け、院内の各部署を回り、省エネ状況を定期的に確認するなど、職員自身の意識付けにも努めている。</p> <p>多種多様な再生可能エネルギー設備が導入された施設は市内でもまだ例が少なく、今後事業所等への普及拡大の一助になると期待できる。</p>
	美化部門	団体	鶴亀クラブ	<p>一箕町鶴賀にある鶴亀ハイタウン内の集会所や公園周辺の除草、会津大学前の歩道の清掃や除草、また、河川敷沿いの除草や、住宅から道路に張り出した垣根の剪定などを行っている。</p> <p>老人クラブであるため、会員は平均年齢70歳と高齢であるが、常に町内の環境に目を配り、互いに協力しあい、様々な環境美化に取り組んでいる。また、同町内には他地域からウォーキングに訪れる人も多く、快適に歩ける環境を作りたいという会員の意識が町内の環境美化につながっている。</p>
	環境教育部門	団体	大戸中学校	<p>牛乳パックや新聞紙・雑誌、制服等のリサイクル活動や節電、節水等の省エネ活動、老人ホームや駅舎、公民館等の清掃活動などを9年以上に渡り、実施している。学校版EMSの更新審査をきっかけに、学校独自のマスコットキャラクターを作成し、照明スイッチ付近に節電を呼びかける貼り紙を掲示するなど、生徒自身の環境に対する意識を高める工夫が見られる。</p> <p>教師・生徒が一体となって環境活動に取り組みながら情報発信を進めたことにより、生徒のいない家庭からも空き缶などの資源物が届くようになるなど、地域への浸透が伺える。</p>
	自然環境部門	—	—	
事業部門	事業所	會津通運株式会社	<p>平成16年頃より、環境負荷低減のため、従業員のエコドライブの取り組みに着手。各車にデジタルタコメーターを取り付け、燃料消費量や走行距離を徹底管理することで、ガソリン使用量の削減を達成している。また、ハイブリッドトラックの導入を進めるとともに、ダンボールやビニール紐等、梱包材のリサイクル、ごみの分別にも努めており、さらには事業所内の倉庫に太陽光パネル(44kWh)を設置するなど、再生可能エネルギーの促進にも取り組んでいる。</p> <p>エコドライブやハイブリッドトラックの導入は、運送業という当該会社の事業活動における環境負荷低減に大きな功績があると評価できる。</p>	